

白浪五人男

（青砥稿花紅彩画・鎌倉稲瀬川の場より）

捕手 動くな

駄右 これほわいらは何とするのだ

捕手 何とするとは知れたこと、迷子を探す態に見

せ、

網を張って待つていたのだ

駄右 かく露頭の上からは、卑怯未練に逃れはせぬ、

一人一人に名を名乗り、網に掛かつて、

五人 刑罰受けん

捕手 して、真先に進みしは、

駄右

問われて名乗るも烏漕がましいが、生まれは遠州浜松在、

十四の歳から親に離れ、身の生業も白浪の、

沖を越えたる夜働き、盗みはずれど非道はせず、

人に情けを掛川から、金谷を掛けて宿々で、

義賊と噂高札に、廻る配符の盪越し、

危ねえその身の境界も、最早四十に人間の、

定めは僅か五十年、六十余州に隠れのねえ、

賊徒の張本日本駄右衛門

弁天

さてその次は江ノ島の、岩本院の稚児あがり、

普段着慣れし振袖から、鬚も島田に由比が浜、

打ち込む波にしつぽりと、女に化けて美人局、

油断のならねえ小娘も、小袋坂に身の破れ、

悪い浮き名も龍の口、土の牢へも二度三度、

段々越ゆる鳥居数、八幡様の氏子にて、

鎌倉無宿と肩書きも、島に育つてその名せえ、

弁天小僧菊之助

忠信

続いてあとに控えしは、月の武蔵の江戸育ち、

餓鬼の時から手癖が悪く、抜け参りからぐれ出して、

旅をかせぎに西国を、廻つて首尾も吉野山、

まぶな仕事も大峰に、足をとめたる奈良の京、

碁打ちと言つて寺々や、豪家へ入り込み盗んだる、

金が御嶽の罪科は、蹴抜けた塔の二重三重、

重なる悪事に高飛びなし、後を隠せし判官の、

御名前騙りの忠信利平

赤星

またその次に連なるは、以前は武家の中小姓、

故主のために切り取りも、鈍き刃の腰越や、

砥上ヶ原に身の錆を、磨ぎなおしても抜け兼ねる、

盗み心の深みどり、柳の都谷七郷、

花水橋の切り取りから、今牛若と名も高く、

忍ぶ姿も人の目に、月影ヶ谷神輿ヶ嶽、

今日ぞ命の明け方に、消ゆる間近き星月夜、

その名も赤星十三郎

南郷

さてどん尻に控えたは、

磯風荒れえ小ゆるぎの、磯馴れの松の曲がりなり、

人となつたる浜育ち、仁義の道も白川の、

夜舟へ乗り込む舟盗人、

波にきらめく稲妻の、白刃で脅す人殺し、

背負つて立たれぬ罪科は、その身に重き虎ヶ石、

悪事千里というからは、どうで終めえは木の空と、

覚悟はかねて嶋立沢、しかし哀りやあ身に知らぬ、

念仏嫌れえな南郷力丸

駄右 五つ連れ立つ雁金の、五人男にかたどりで、

弁天 案に相違の顔ふれば、誰白浪の五人連れ、

忠信 その名もどろく雷の、音に響きし我々は、

赤星 千人あまりのその中で、極印打った頭分、

南郷 太えか布袋か盗人の、腹は大きな肝っ玉、

駄右 ならば手柄に、

五人 からめてみる

烏澁がましい…差し出がましい。なまいきだ。

遠州…静岡県の大井川以西。

生業…生活を営むための仕事。

夜働き…夜盗。

義賊…国家や領主などの権力者からは犯罪人と目され、無法者とされながらも、大衆から支持される個人及びその集団のこと。

高札…重罪人を示した札。

配符…江戸時代、役所から通達・回覧させた、犯罪人の捕縛あるいは密告を命じる手配書。

盪越し…盪で川を渡ること、すなわち危ないこと。

六十余州…日本全国のこと。

賊徒…盗賊の仲間。

張本（人）…首謀者。

稚児…寺院や、公家・武家で召し使われた少年。男色の対象となることもあった。

島田鬻…日本髪の代表的な髪形。前髪と鬢（たば）を突き出させて、まげを前後に長く大きく結ったもの。主に未婚女性が結う。花嫁の文金高島田をはじめ、締付島田・投げ島田など多くの種類がある。江戸初期、東海道島田宿の遊女の髪形から広まったという。

美人局…男が妻や情婦にほかの男を誘惑させ、それを種に相手の男から金品をゆすりとること。

小袋坂…巨福呂坂切通し（こぶろざかきりどおし）は、鎌倉七口（鎌倉七切通し）の一つです。北鎌倉山ノ内と鎌倉の雪ノ下をつなぐ山を切通して開かれた道です。小袋は男性の陰囊を暗喩。

龍の口…龍口明神社（りゅうこうみょうじんじや）は神奈川県鎌倉市腰越地域腰越にある神社。創建は538年と伝わり、鎌倉市に現存する神社では一番古い。

土の牢…明治時代まで、宿坊で働く少年達が悪さ（窃盗）をした時に、お仕置として閉じ込められていた岩本院の場所。

無宿…現在の戸籍に当たる宗門人別改帳から外されている者。仕事を求めて故郷を離れたり、ワケあり（勘当）や家出、駆け落ち、失踪、犯罪を犯すなど）で地元にいられなくなった者を指す。今で言う無国籍者。

月の武蔵…関東平野が広く、身近に月をささぎる山がない。抜け参り…伊勢神宮への参拝「お伊勢参り」は、江戸の庶

民の一大イベントだったが、まず親の承諾と（地元）大家から手形をもらわないといけなかった。「抜け参り」とは、それらの手段を省いた不正な旅行のこと。ほとんど家出。

大峰…日本百名山の一つである大峰山（吉野山から紀伊の熊野までの山脈全体を指す）は、奈良県中央にあり、標高1915m。古くから修験道の山として知られ、山伏達の修行の場で、今でも女人禁制である。

御嶽…京都の福知山にある三岳山（みたけさん）。

蹴抜けの塔…吉野山の奥、金峰神社の裏手に存在する。源義経がこの社の屋根を蹴破って逃亡したと伝えられる。

判官…別名・検非違使尉（げびいしのい）とも呼ばれ、非法（法律を違反すること）の検察を司る役職の人。

中小姓…江戸時代の各藩の（武士の）職名。

小姓組と徒士（かち）衆の中間の役職で、主君には御目見えできるが騎馬には乗れない身分。

切り取り…切り取り強盗。

谷七郷…山に囲まれた地形の鎌倉には、七つの谷がある。

鎌倉谷七郷とは「小坂（おさか）、小林、葉山、津村、村岡、長尾、矢部」の事。

今牛若…義経の幼名が「牛若丸」だったことから「現代版・義経」。女のように美しく、身軽な美少年のこと。

月影ヶ谷…現在の鎌倉市極楽寺、江ノ電沿線の極楽寺駅と稲村ヶ崎駅の間、江ノ電の整備工場の近くの踏み切りを渡ったところらしい。

神輿ヶ岳…一説には現在の鎌倉市長谷の大仏から甘縄神明社にかけての裏山周辺と伝えられる。

小ゆるぎ…「ゆるやかな波の（海岸）」の意味。神奈川県中郡大磯町から国府津（こうづ）にかけての海か。

磯慣れの松…海風になびき、地面から斜めに生えた状態。

白刃…抜き身の刀。

虎が石…供養塔の一種。

悪事千里…悪いことをすると、その評判はあつという間に広がってしまうこと。

木の空…櫛（はりつけ）。

鳴立沢…現在の神奈川県大磯町の西端にある。